

2011 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	佐藤 元英		
NAME	SATO Motoei		

1. 研究課題

(和文) 東アジアにおける日米開戦の視座－日英対立の構造－

(英文) The Study on the Pacific War by the Angle from East Asia; the Confrontation of Japan and Britain;

2. 研究期間

1 年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 200 字程度)

(和文)

1941 年の日米交渉 (開戦回避の努力) において、最大の問題は、①中国及び仏印における日本軍の撤兵・駐兵、②通商の無差別、③日独伊三国同盟の撤廃であった。こうした問題に関して、従来の研究視点は日米間の直接交渉の分析によって行われてきた。しかし、これらの問題は、東アジアにおける日英対立に極めて密接な関係があった。そこで、太平洋戦争を日英戦争として捉え、イギリスとの直接的紛争となった天津租界問題、仏印・蘭印における資源獲得競争、日泰軍事同盟などを分析しながら、日本の南進政策とイギリスの東アジア国際秩序の現状維持について、再検討を試みた。

イギリス国立公文書館所蔵外務省文書を調査し、イギリスとアメリカの連繫、暗号解読の情報交換などを通して、英米の対日戦略を調査研究した。

研究の成果として、第二次世界大戦勃発からのイギリスの対日貿易遮断が、アメリカの対日経済制裁よりも、日本経済に対する深刻なダメージを与えていたこと、アメリカ国務長官ハルの対日覚書、いわゆるハル・ノートの発出は、イギリスの主張によるものと見られることが判明した。

(英文) I investigated the Ministry of Foreign Affairs document in The Public Record Office, U.K. And I studied the cooperation of Britain and the United States, information exchange of decryption to make clear the British-American anti-Japanese strategy.

As a result of research, anti-Japanese trade interception of Britain from the World War II outbreak had given the serious damage to Japanese economy rather than U.S. anti-Japanese economic sanctions. And it became clear that the Hull Note was sent according to the opinion of Britain.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）

「第二次世界大戦の勃発と日英貿易遮断問題」（仮題）『紀要史学』（中央大学）第58号、2013年3月発行予定

【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）

【図書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）

【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）